

C-47 布地の性質の数値的表現 (その 2)

——バイヤス伸張度と織物ほつれとの関係——

戸板女短大 香取智恵子

1. 前報において、袖山のいせこみ量をきめることを例に、すべての布地の性質の数値的表現について提案したが、その中心になったバイヤス伸長度と、縫製の困難や、縫目の破損の原因となる織物のほつれで特に外力によってのほつれ抵抗力を対象としたものを数値化し、これらの関係を検討した。衣料加工や着用によるほつれやすさの一つの目安とするためである。

2. 織物のほつれやすさの程度は、織物の使用状態や作用によって異なるので、今回は外力によるほつれ抵抗力を次の方法で測定を行なった。一定幅の試料の末端中央部に針を引っかけ、試験機にかけ糸の滑脱する際の最大

抵抗力を測定した。この場合同一布地で引っ掛け本数2本から5本までとし、たて、よこ、5回ずつ行なった。

3. 末端の糸を中央部から引張り、ほつれに要する抵抗力を測定すると同時に、ほつれる糸の本数の影響を調べ、これを数値化してバイヤス伸長度との関係を検討した結果、よい相関がみられた。即ちバイヤス伸長度の高いものほどほつれやすい現象である。このようにバイヤス伸長度は巾広く、他の多くのものに有効的に働く可能性を有するものと思われる。ほつれやすさも、経験的、推理的に扱われていたことが、このバイヤス伸長度で或程度まで表現出来るものと考えられる。